

(様式1)

令和6年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

(1)学校教育目標	夢や志の実現に向け、知・徳・体の調和のとれた心身ともに逞しい人間の育成と、自分で考え自分の意志で行動できる力を育む教育を推進する。
(2)現状と課題	本校生徒は、素直でおおらかで部活動にも熱心に取り組んでいる。生徒が自らの将来を見据え、主体的に学び行動するところ、相手の気持ちに寄り添った言葉遣いや適切なコミュニケーション能力の育成が課題である。進路は、就職から進学まで多様であり、基礎学力の向上、資格取得指導の強化が求められる。生徒の学習意欲を高め、主体的に取り組む姿勢を育てていく必要がある。
(3)重点目標	<p>1 規律ある学校生活と豊かな心を育む【○基本的な生活習慣の確立 ○安全・安心な学校生活】</p> <p>2 確かな学力を育む【○基礎・基本の徹底 ○教師の指導力向上】</p> <p>3 夢や志の実現を支援する【○キャリア教育の充実】</p> <p>4 地域校としての役割を果たす【○保護者との連携 ○地域・関係機関との連携】</p>
(4)結果の公表	通知票に同封し郵送する。各種広報資料、学校ホームページ、PTA総会等において、学校教育活動の評価報告を公表する。

学校整理番号	22
学校名	青森県立六ヶ所高等学校
課程	全日制の課程

自己評価実施日	令和7年1月29日(水)
学校関係者評価実施日	令和7年1月31日(金)

(9)-イ 学校関係者評価委員会の構成	
学校評議員4名	
・学校医 1名	・後援会理事長 1名
・元PTA会員 1名	・会社役員 1名

自 己 評 価				学校関係者評価		
番号	(5)評価項目	(6)具体的方策	(7)具体的方策による目標の達成状況	(8)目標の達成度	(9)-ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	(10)次年度への課題と改善策
1	規律ある学校生活と豊かな心を育む	①挨拶の励行、服装の確立、時間厳守の徹底に取り組む。 ②すべての教育活動を通して、自己有用感の育成、部活動を通して、責任感、思いやりの育成に取り組む。 ③いじめの早期発見、対応、命を大切にする教育、一人一人に寄り添った教育相談に取り組む。	①毎日、生徒指導部と生徒による登校指導を実施した。毎月第3週は、全教員による登校指導を実施し、明るく元気な挨拶の定着を試みた。 ②高校生活を心から楽しむために、生徒が主役となれるように学校行事や部活動を運営し、生徒に達成感を味わわせ、自己有用感、思いやりを育成することができた。 ③いじめ防止委員会を定期開催して課題の確認を行い、未然防止に努めた。日頃から、いじめや問題行動の早期発見、早期対応を目指し、全教職員で情報共有を図り迅速な対応を行った結果、重大事案とはならなかった。	B	①挨拶や礼節を重んじた指導は、落ち着いた教育環境の構築につながり、本校の魅力化の向上に寄与するため、継続して取り組んでほしい。 ②自己有用感、思いやりに関して、どのような変化があったのか評価を行い、より効果的な教育を行ってほしい。部活動に対して、やる気のある生徒に目を向け、活発で情熱的な部活動運営を期待する。 ③今後もいじめに対して、授業等で生徒の変化を見逃さず、教職員や保護者との情報共有を行い、未然防止に努めてほしい。	①挨拶が自然にできるよう、習慣作りのため登校指導だけでなく普段からあらゆる場面を活用して働きかけをしていく。 ②部活動の運営について、地域の協力が得られるよう連携を強化し、参加生徒の満足度を高めることによって活性化を図る。 ③生徒や保護者との関係性の構築を継続して、いじめや問題行動の防止と早期解消を目指す。思いやりのある生徒の育成に全教職員で取り組む。
2	確かな学力を育む	①学習意欲を高める「わかる授業」の実践、主体的、対話的で深い学びの実現のため、ユニバーサルデザインの視点に立ち、生徒の学習支援を進める。 ②ICT活用による学習効率の向上について、校内研修を実施し、全校体制で授業改善を進める。 ③公開・研究授業への参加を促し、校内外の研修に積極的に取り組む。	①学習アンケートでは、ほとんどの生徒が「授業は楽しい」「わかりやすい」と回答した。全ての教科においてわかる授業を展開し、生徒が主体的に学べる環境を整えることにより、授業の満足度が高まった。 ②スタディサプリの活用やユニバーサルデザインの視点による研修を実施し、チーム六高での授業改善を心がけたことにより、切磋琢磨しながら授業力向上が図られた。 ③村小中高教科連携協議会を活用して、異校種との交流によって生徒支援に理解を深め、教員の指導力向上を図った。また、県総合学校教育センターの指導主事を招聘して研修を進めたことにより、授業力がより高まった。	A	①授業アンケート結果の少数意見に対しても、分からない生徒への個別対応を充実させるなど力を入れてほしい。 ②ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善を継続し、さらに充実させてほしい。 ③小・中学校教員との研究授業における交流など、多様性理論に基づく教員の資質や授業力の向上への取り組みが評価できる。是非継続し続けてほしい。	①学力の向上という本質的な目標を再確認し、客観的な評価を指標に授業改善を図り、学びに対する満足度をさらに高める。 ②校内研修等で互見授業の機会を増やし、学校全体で取り組んでいるユニバーサルデザイン化をさらに充実させる。 ③校内で開催される研修の意義や目的を再認識することと他校で開催される研究授業に積極的な参加を促す。
3	夢や志の実現を支援する	①三年間を見通した進路指導計画とその実践、学年に応じた総合的な探究の時間と運動したキャリア教育の実践に取り組む。 ②二者・三者面談を充実させ、生徒・保護者への情報提供と共有ができるよう取り組む。 ③就職支援、進学指導体制の充実を目指し、放課後に進路セミナーを企画し、組織的に取り組む。	①進路指導部と各学年とで年間計画を調整し、充実した進路指導を実践できた。総合的な探究の時間は、外部機関と連携した取組を行い、生徒のキャリア教育の充実を図ることができた。 ②生徒が主体的に進路選択できるよう、進路指導部と学年が連携し、進路実現を図る取組ができた。 ③進路指導部と学年の連携により、朝学習でスタディサプリアを活用した。放課後には、就職・進学のために志望理由書対策等の進路セミナーを行った。大学入試の学校推薦入試や総合型選抜入試等で成果を上げた。	B	①村内各企業へのインターンシップ等をお願いし、本校でしかできない取り組みをすることで、キャリア形成の一助としてほしい。 ②就職希望者も多いため、就職希望者に対する指導の充実をさらに図ってほしい。 ③進路目標の達成のために、総合的な探究の時間を有効活用する必要がある。大学の年内入試を視野に入れたテーマ設定と、発表までのスケジュールの策定が望まれる。	①進路指導年間計画を全教職員が理解し、改善点等を議論し組織的に進路指導を進めるため、体制づくりをおこなう。 ②面談がより良いものになるよう、事前に生徒や保護者向けの各種進路ガイダンスを行い進路情報を提供する。 ③今年度始めた放課後進路セミナーの課題や改善点を克服し、生徒の志望理由書や小論文入試のための文章力充実を図り、進学実績の向上を目指す。
4	地域校としての役割を果たす	①学校新聞、学校ホームページ等による学校情報の積極的な配信に取り組む。 ②地域等との協働による「人づくり」の実践に取り組む、多様な進路目標達成を支援する。 ③地域校活性化協議会を踏まえた本校の活性化、教育環境の充実に取り組む。	①学校ホームページ更新を継続し、最新の学校情報を発信できた。また、総合的な探究の時間の指導体制を充実させ、講師や地域関係者を招聘して成果発表会を六ヶ所村交流プラザで行った。 ②村内の外部機関に対して積極的に講師を依頼し、地域社会に対する理解を深める試みを実践した。授業や特別活動を通じて、地域や社会で積極的に役割を果たそうとする姿勢を育成することができた。 ③昨年度、策定した活性化のための方策を実践し、進学支援を中心に充実を図った。村役場や各機関の企画する事業への積極的な参加を促した。	A	①校外施設における総合的な探究の成果発表会をはじめ、発信力の向上に努めたことを継続してほしい。 ②泊地区のイベントで本校の生徒がよさこいを披露していて、地域活動に積極的に参加するのは素晴らしい。地域の人々と交流する機会をさらに増やし、いろいろな話を聞ける環境を作ること、生徒たちの成長を促してほしい。 ③地域校として、地域社会との関わりに積極的に取り組んでいる。今後は、学校運営協議会での議論を踏まえ、教育環境のさらなる充実を期待したい。	①ホームページの更新を継続し関係者の満足度を高める。また、地域から意見をもらえるよう校外での発表会やイベントへの準備を大事にし、積極的に参加する。 ②協力的な地域環境を最大限活用して、今後も地域の企業等と連携を図り、地域に貢献できる生徒の育成を行う。 ③学校運営協議会で、総合的な探究の時間における学習のさらなる充実や個別最適な学習への支援体制を検討するなど、本校の活性化に向けた取組を行う。

(11)総括	基本的な生活習慣の確立と安全・安心な学校生活について、生徒会による挨拶運動、定期的な面談、スクールカウンセラーの積極的な活用により、いじめや問題行動に対して未然防止と早期解消を図った。基礎基本の徹底と教師の指導力向上について、全教員で生徒の学びに向き合いユニバーサルデザインを取り入れた授業研究に取り組む、互いの良さを共有することによって全ての生徒が分かる授業の実現と授業力向上を図った。キャリア教育の充実について、総合的な探究の時間を活用して現地向いて地域人材との交流を深め成果発表会を校外施設で行った。保護者や地域・関係機関との連携において、村役場や地元企業の主催する事業を活用して本校独自の魅力化を図り、その成果の情報発信を行った。
--------	---